



ねじりはちまき

 謹賀新年 

皆様、良い御年をお迎えした事とお慶び申し上げます。

昨年中は、一方ならぬお世話様になり、有難く厚くお礼を申し上げますと共に本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年は今和 5 年、みずのと卯の年です。“みずのと”と言うのは水のことです。海や大きな川の流れてではなく、雨や水たまりや池のようなものを表し、植物や動物が、生命維持や成長のためにはなくてはならない水のことです。卯は十二支では 4 番目で跳躍があることから『飛躍向上』を意味します。又、方位では東です。太陽が東から昇るように努力して育んできたことが春の訪れと共に、いい運気に乗って皆様と共に飛躍できる年であると思います。新型コロナウイルスがだいぶ増えてきているようです。十分に注意しながら楽しい正月をお送りください。

幸田常一 (年男です。(^^♪))

\*\*\*\*\*

1 月に入りました。今年は今 / 6 (金) 仕事始めです。

住宅増築工事を昨年からお世話になっておりますので、引き続きコロナ対策、寒さ対策をしながら作業を進めてまいります。本年もよろしくお願ひいたします。

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの規制が緩和しましたが、福島県でも感染者が一時三千人を超えるなど爆発的に感染者が増えた年でした。弊社でも感染拡大防止のため対策はしている所ではありますが、新型コロナウイルスに感染、濃厚接触者になったため現場に出れないなど、ご迷惑をおかけしましたこと申し訳なく思っております。

令和5年は「卯年」になります。うさぎはその跳び姿から「飛翔・向上」を象徴することと親しまれ、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われております。

住まいのなやみひきうけ隊・規格住宅に続く住まいに関連したことを新しく提供したいと考えておりますので、今年もよろしく願いいたします。

代表取締役 渡邊正勝



昨年もお世話になりました。

年々一年があっという間に終わってしまうように感じます。

今年で私は学年でいうところの39歳の年になり、いよいよ40歳が目の前に迫っているなど実感し、公私ともにもっとしっかりしなければと思います。

また、昨年はコロナの影響がかなり身近に出てきていて、自分の身内も感染し、濃厚接触者としての対応などで仕事にも影響が出てしまいご迷惑をおかけしました。

まだまだコロナの影響が残り、なおインフルエンザも流行ってきていますのでご自愛くださるようお願いいたします。

本年もよろしく願いいたします。

専務取締役 鈴木信義

## 令和5年新年あいさつ

新年明けましておめでとう御座います。昨年中の御厚意、心より感謝申し上げます。

こんなにいい事続いていいのか？もしかして夢かな？正直にそんな思いになった年でした。もちろん障害が何もなかったかといえそうではありません。しかしその度に助け船があったり、いい道標を授けて下さったり、結果として災い転じて福となる事が多かった。昨年は「善を積もう」という年にしたいと思い、いい行動をした？つもり。「神さま仏さまがこっそりおしえてくれたこと」悟東あすか著、という本に出合って読んだ。いいことがあった時は神様仏様に感謝しなさいと。書いてあった。「大日如来様有難う御座います。」と心でつぶやいた。事が何回かあった。「天網恢恢疎にして漏らさず」やはり天からみられている。安心しろと言っているのか、気をつけろと言っているのか。さて今年はどんな1年にしたいかですが、具体的には有限会社を株式会社にしたいと思っております。資本金の額によって請負可能な工事が制限されてしまうからです。これは建設業法で決められている制限です。もう一つは、健康でいたいので生活習慣について気を配ろうかと思えます。ずーっと長くお世話になった方、周りにいた筈の人たちがどんどん少なくなっています。寂しいものです。幸いに私の両親は昭和2年と昭和6年生まれですが2人で時々小戦争を起こしながら元気で過ごしております。食事は摂生しておりますが生活スタイルはマイウェイのように感じます。そこが長生きの秘訣のような気がします。私も摂生しながらマイウェイで、我儘をちりばめて天から罰を与えられないようにしながら楽しい年にしたいと思っております。そんな私ですが、本年も相変わらず宜しくお願い致します。



取締役会長 幸田一二



明けましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりました。本年もますます頑張っ参ります。

どうぞ、よろしくお願いたします。

本年も皆様にとって、素晴らしい1年でありますようお祈り申し上げます。



渡邊 正吾

国分 務

佐藤 朋彦

石井 良信

角田 風馬



明けましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりました。

昨年は新入社員が1人加わったり、お客様を紹介して頂いたり、新しい出会いがあった年でした。とても嬉しく有難い年であったと感謝いたしております。

事務員2人で協力しながら、頑張っ参ります。

本年もよろしくお願いたします。(\*^\_^\*)

幸田 久美

星野 尚子



令和5年1月5日発行 <発行責任者>幸田久美

〒969-1204 本宮市糠沢字八幡 1-1 有限会社幸田建設 Tel0243-44-3816

多様性について

今回は多様性について取り上げたい。日頃多様性という言葉にどれほど接しているかという、それほど多くはないかと思う。では、なぜ取り上げるのか。最近のことであるが、「多様性」という言葉に出くわす機会が度々あり、気になりだしたのである。特に地球温暖化・自然破壊との関係で、「生物多様性」が失われているという報道に接して、ここで多様性の大事さについて理解しておかなければという気持ちになった次第。考えてみれば、2年前の東京オリンピックのメインテーマも「多様性と調和」であったことを思い出す。

では、多様性とは定義的にいうと、どんなことを指すのか。難しい定義は止めよう。自然界も人間界も多様性に満ち、多様性で成り立っている。例えば、自然界では、植物も、動物も多くの種類があり、さらに同じ名前の植物、動物も細かく分類される。具体例を挙げれば、植物のイモ類はジャガイモ・サツマイモ・サトイモ・ナガイモ・キクイモなどがある。さらにジャガイモであれば男爵・キタアカリ・メークイン・ベニアカリ・など種芋広告だけでも33種がある(品種改良のものもあり)。では動物の犬を見てみよう。犬は哺乳類—ネコ目—イヌ科(タヌキ・キツネ・オオカミ)—オオカミ属(イヌ)という分類になる。そしてイヌはイエイヌとノイヌがある。そして家庭で飼っているイエイヌには多数の種類がある。トイプードル・チワワ・プードル・ブルドック・秋田犬・柴犬など販売広告に登場しているものだけで120種を数える。哺乳類といえば人間もそれに属するが、人種はどの位あるのだろうか。どうも今は、人種という分類は「人種差別」との関連もあって余り使われないうだ。一応従来から分類としては、ネグロイド(黒色人種群)、コーカソイド(白色人種群)、モンゴロイド(黄色人種群)、オーストラロイド(黒褐色人種群)に分けられる。この分類は、骨格・皮膚・毛髪など遺伝的、形質的特徴によって区分したものである。そして、同じ日本人でも一人ひとりが顔・体格・性格などがそれぞれ異なる特徴を持つ。これに対して、言語・人種・文化・歴史的運命を共有し同族意識によって結ばれた人々の集団という観点から分類したのが、「民族」である。民族も母語による分類によると大きく8系統になるとのこと。その系統毎に多くの言語があり、ある調べによると世界には7139言語あるという。国別にみるとパプアニューギニアが840の言語があり、最高である。日本においても日本語と先住民のアイヌ語があり、その日本語も同じ言語の中でありながら標準語に対し、全国各地の方言が数多くある。

多様性を自分の身近なところで見てみよう。我が家の屋敷内で季節ごとに咲く花も種類が多いし、花を咲かせない樹木も数あり、雑草といわれる草々も種類が多い(数えてみたら35種類ほどある)。季節毎に咲く花も色や形に特徴があり、葉の形・葉脈もそれぞれ違う。飛来する野鳥や蝶・ハチも種類が様々である。そして食卓に上る農産物・海産物・林産物も多様性に富んでいる。またこれらの調理法も、味わいも多様である。

ここまでみてくると、この地上の生物(人間も含めて)はなぜ、「多様性」を持つ形で存在するのであろうか。誠に不思議である。人間は多様性を意識しているが、動物・植物自体は多様性を意識しているのであろうか。犬や猫、そして花壇の花々は互いの違いを認識しているのか。残念ながら、それは人間には分からない。ではなぜ、画一ではなく、多様なのか。どのように理解すればいいものか。環境条件や遺伝子の違い(進化の違い)から説明が可能かも知れない。しかし種の多様性そのものは、その説明だけでは分かった言い切れないものが残る。そもそもの存在・種(イヌやネコなど)が多様に誕生したのかだ。

では、ここで自然と人間の関係で、自然の多様性を考えてみよう。あくまで人間の視点・立場からである。例えば、人間にとって、自然は多様であることで、衣食住に欠かせない様々な恵みをもたらしてくれる存在であり、美しさ(花々や緑・紅葉)をもたらしてくれる存在であり、鳥の飛翔・魚の遊泳・虫の音などから学び、機器の発明をもたらしてくれる存在である。衣食住に関してはとてもここに書き切れない程、自然の多様性に支えられ

ている。「人間は自然の一部」といわれるが、人間が肉体を維持・発達させるためには、植物の光合成作用を始め、食糧の摂取などいずれも自然の多様性抜きには考えられない。それと、医療に使われる医薬品だが、医薬品の成分には5万~7万種もの植物がもたらす物質が貢献しているのだという。この数字は驚くべきことである。

多様性といえば、やはり「生物多様性」に触れなければならないだろう。この説明の仕方は様々だが、ある説明を借りる。それによると、地球上には、3000万種という多様な生きものが生息しているという。全ての生きものには違い（個性）がある。様々な生きものが異なる環境で自分たちの生きる場所を見つけ、互いに違いを生かしながら、繋がり調和していることを「生物多様性」という。つまり、生物の豊かな個性と繋がりのことを指して「生物多様性」という。生物全て一つ一つに個性があり、全てが直接・間接に支え合っているということだ。生物多様性条約によると、生物多様性を①生態系の多様性 ②種（しゅ）の多様性 ③遺伝子の多様性 の三つに分けて保全すべきとしている。

①生態系の多様性：森林、里地里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁などに気候を加え、それぞれの環境条件に合った様々な生態系が成立している。

②種の多様性：それぞれの生態系には“食べる”“食べられる”で繋がった数えきれないほどの多くの「種」（微生物も含め）が暮らしている。

（注）私見だが、“食べる”“食べられる”の関係は、全体の”支え合う”視点からすると、“いのちを与え合う”関係とみていいのではないかと思う

③遺伝子の多様性：同じ種の生きものでも、一つでも遺伝子が違えば、姿・形・声・行動の違いに現れる。例えば、同じゲンジボタルでも東・西日本では発火の間隔が違ってくるといって現れてくる。

生態系について一言（生物相互の関わり合いについて）：植物が光合成で栄養をつくり、その植物を動物が食べる。その動物が死ぬと微生物が分解し、土に還元されたその養分を植物が摂取する。このように生き物がそれぞれ役割を担っているのが生態系である。気候の変化や人間活動により、ある生き物の数が大きく増えたり減ったりすると、他の生き物全体に影響がでる。ここで忘れてならないのは、人間も生態系の一員であるということだ。先に人間は自然の一部と言ったのはこのことである（自然抜きでは存在し得ない）。

生物の多様性についてはこの位にして。多様性に関する話題を。一つは人間の個性と人権のこと。実に人間の個性は多様である。障害者を含めそれぞれの個性を蔑視したり、差別したりすることなく、互いに「違いを認め合う心」が大切である。二つ目は、墨絵のことである。墨一色で濃く薄く、その加減さで実に多様な表現が可能である。驚きである。三つ目は、人間・個々人についてである。成長するにつれて子から始まり、兄弟・姉妹となり、いとことなり、結婚しては夫・妻となり、父・母となり、叔父・叔母ともなり、孫ができると祖父・祖母ともなる。一人の人間が、かくも多様性を持つことになるのは面白い。このくらいで「多様性について」の話は終わりとしたい。